# 東条第一体育館の雨漏り被害について

## １．概要

令和８年８月下旬と９月中・下旬に発生した豪雨により、東条第一体育館で雨漏りが発生した。これにより、アリーナのフローリング表面に段差（写真１）が発生し、９月１５日より当該施設を使用停止としている。

施設の構造的な要因や屋根部材パッキン等の劣化から、雨が床下へ回っていたことで、床の構成部材（図１）の腐食が進行していたことが判明しており、今後、改修する計画である。

## ２．詳細な経緯

| 認知・発生等の日時 | 内容 |
|---|---|
| 令和７年９月頃 | 指定管理者より、雨漏りで床の 1/4 が濡れていると連絡を受けた。どこから漏れているか目視では原因を特定できなかった。<br>屋根に上ると屋根谷樋に水が溜まりプールのようになっていた。<br>排水口のごみを除去すると、詰まりは解消し、以降の雨漏りは収まった。 |
| 令和８年８月２８日<br>降雨は 8/27　23～28 時<br>時間最大雨量 49mm<br>連続雨量 76mm | 雨漏り発生、床の 1/4 程度濡れていた。屋根谷樋の状況として、多少ごみはあるが水溜りは確認できなかった。<br>一部床に数ミリの段差が生じたため、危険な箇所を研磨し、一般利用を継続した。 |
| 令和８年９月１５日<br>降雨は 9/14　22～25 時<br>時間最大雨量 29mm<br>連続雨量 66mm | 雨漏り発生。アリーナの大半が濡れている状況であった。フローリングの段差がひどく、当日は利用停止とした。<br>屋根谷樋には、水溜りが生じていなかった。 |
| 令和８年９月１６日 | 業者立会いの上で状況を確認した。床の隆起は、支持部材（根太等）を通じて床下地（合板）が腐食、フローリング表面の水だけでなく、以前から水が床下に回っていたことが原因だと断定した。 |

| | |
|---|---|
| | 床の隆起がひどく、無期限の体育館利用停止を決定、利用関係者へアナウンスした。 |
| 令和８年９月２９日<br>降雨は 9/28　15 時～9/29　10 時<br>時間最大雨量 6ｍｍ<br>連続雨量 48ｍｍ | 屋根からの直接雨漏りを確認（コップ１杯程度）。<br>今後の躯体への影響を考慮すると、応急処置ではなく、恒久的な改修が必要であると考える。 |

## ３．施設方針について

当該施設は年間利用件数 755 件、約 17,000～18,000 人が利用しており、東条学園を除けば東条地域唯一の屋内運動施設である。東条地域にとって不可欠な施設であり、改修工事を行う方針とする。

## ４．雨漏りと床隆起の原因と対策について

**雨漏り原因**

・屋根表面を伝った水が谷樋に流れ落ちる（写真２・図２）。昨今の豪雨は樋の排水能力を上回っている。通常、樋の排水能力を上回った水は建物外側へ溢れるが、当該施設では内側へ溢れている（図３）。

・屋根部材重ね合わせ部やネジ付近は劣化しやすく、パッキンやシーリング材が劣化し、屋根から直接雨漏りしている。

**床隆起原因**

・過去からの雨漏りにより、床下地・支持部材が腐食・劣化したためと考えられる。

**改修案**

屋根についてはカバー工法により、全面を覆ってしまう工法が有力である。床については、床下地や支持部材が腐食・劣化（写真３）していることから、全面やり替えが必要となる。

## ５．利用者について

利用者には現在、他の社会体育施設等の利用を案内している。

## ６．今後のスケジュール

（１）令和８年度　改修工事の基本設計（工法検討）・実施設計業務を発注する。

（２）令和９年度　工事発注・完了を目指す。

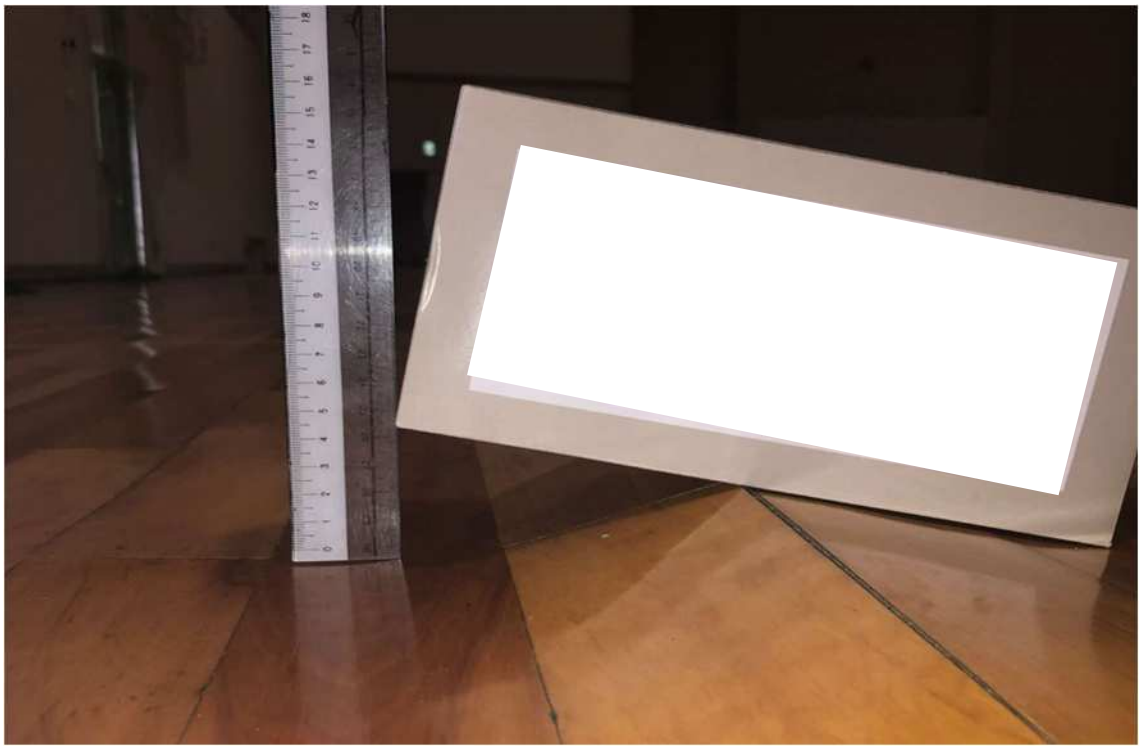


写真１．床の隆起

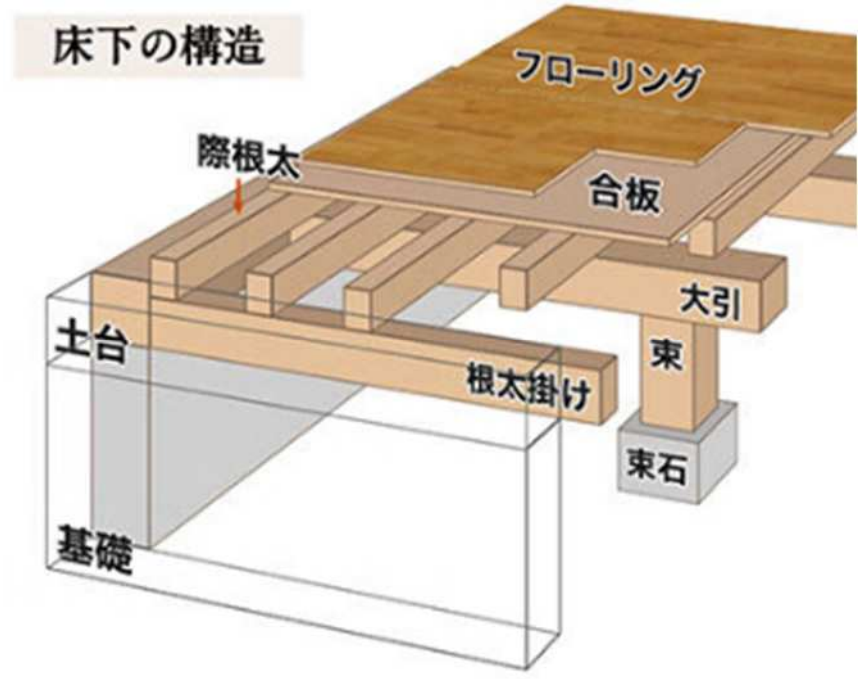



図１．床下の構造




写真２．屋根平面

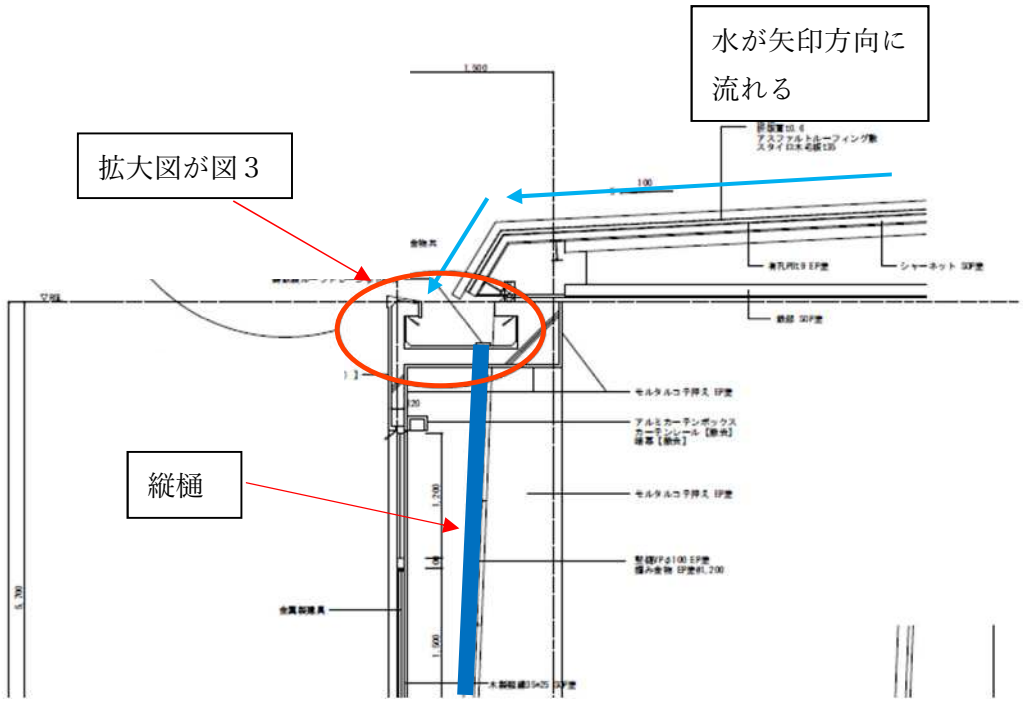



図２．雨水の流れ

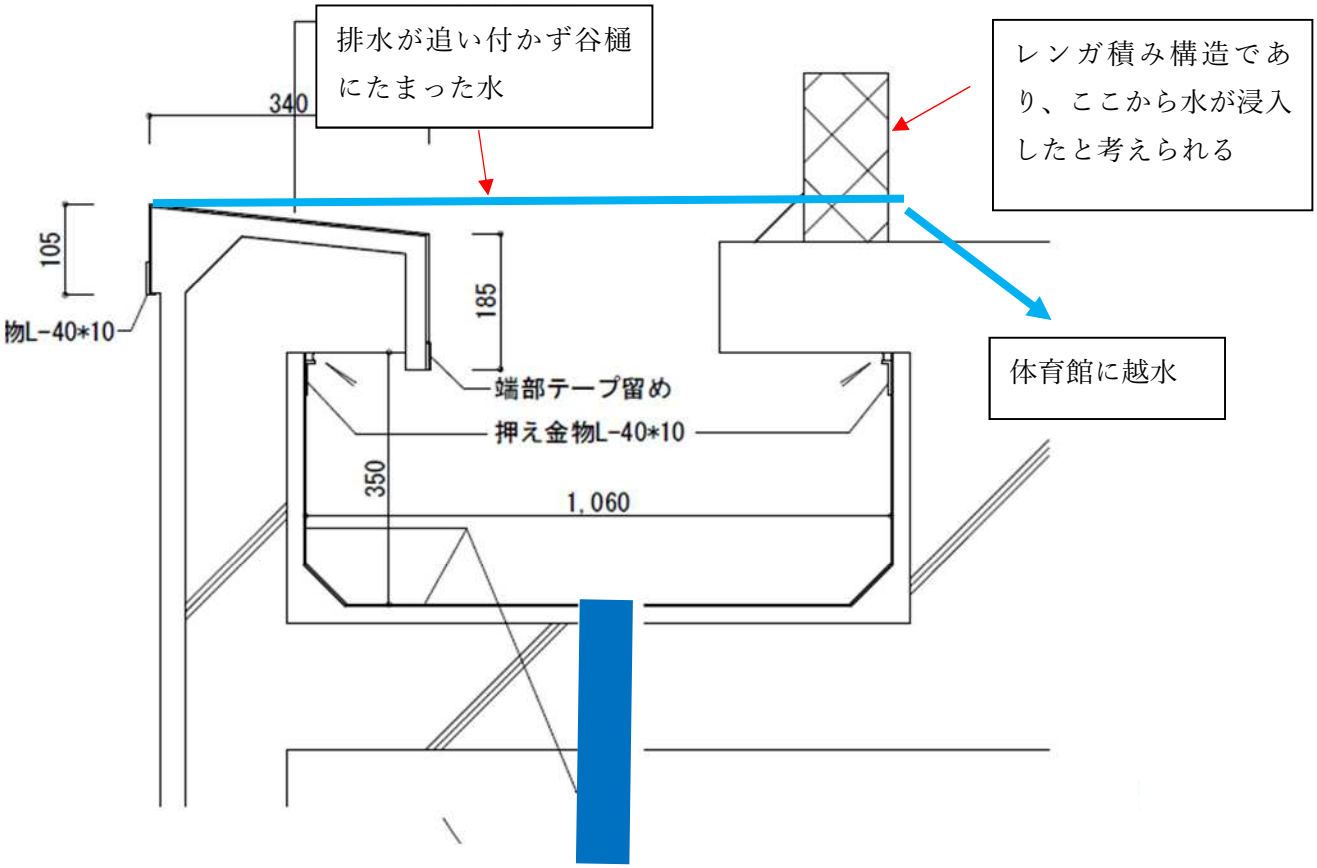



図３．雨水の進入経路



写真３．床下腐食



写真４．躯体を水が伝う状況（天井部分）